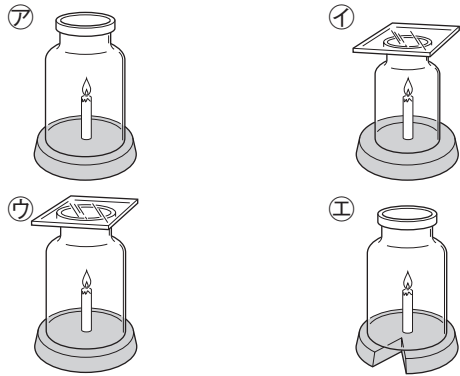


1	ものの燃え方	クラス	氏名	得点	/100
----------	---------------	-----	----	----	------

1 下の図は、底と口のあいたびんを使って、いろいろな方法でろうそくを燃やしたときの様子です。次の問いに答えなさい。ただし、㊦は、ほかに比べて小さいびんを使いました。

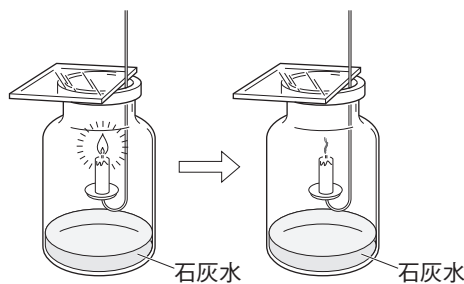


1 (10点×5 = 50点)

(1)	㊦
(2)	ア
(3)	㊦
(4)	酸素(空気)
(5)	㊦

- (1) 図の㊦と㊦では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (2) 図の㊦と㊦では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (3) 図の㊦と㊦では、どちらのろうそくの火が早く消えますか。記号で答えなさい。
- (4) (3)の結果になるのは、びんの中のある気体の量がちがうからです。ある気体とは何ですか。答えなさい。
- (5) ろうそくの火が最も長く燃え続けるものを、図の㊦～㊦から1つ選び、記号で答えなさい。

2 下の図のように、石灰水せっかいすいを入れたびんに火のついたろうそくを入れ、ふたをしました。次の問いに答えなさい。



2 (10点×5 = 50点)

(1)	ちっ素 ----- 酸素
(2)	酸素
(3)	白くにごる。
(4)	二酸化炭素
(5)	気体検知管

- (1) ろうそくを入れる前のびんにふくまれているおもな気体を2つ答えなさい。
- (2) ろうそくを入れてふたをし、しばらくするとろうそくの火が消えました。このとき使われた気体は何ですか。
- (3) 火が消えたあと、ろうそくをとり出してびんをふると、石灰水はどのようになりますか。
- (4) 石灰水が(3)のようになるのは、ろうそくを入れる前に比べて、何という気体が増えたからですか。
- (5) 気体の割合を調べるため、気体採取器わりあいとともに使う器具を何といいますか。

((1)はすべてできて10点)